KENWOOD

特定小電力トランシーバー

UBZ-LK20

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

© B62-1920-10
09 08 07 06 05 04 03 02 01

目次

ご使用の前に

基本操作

応用操作

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

その他

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) を示しています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容 (左図の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜け) を示しています。

・お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。

- 専用充電器以外では充電しないでください。

- 本機以外の機器に取付けないでください。

- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。

- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

- 水の中に落した場合は使用しないでください。

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

⚠警告

使用環境・条件

● 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。

● 電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

● 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください (電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。

● 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

充電器の取扱について

● AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

● タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。

● 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● 電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

● 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

使用方法について

● 本機を布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり､ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

● 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。

● 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

● 本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

● 水などで濡れやすい場所 (風呂場など) では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。

- 煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電池を取り外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検

- 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

  お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

- テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器の取扱について

- 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っぱると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

- スピーカー / マイクロホン端子にはオプションのイヤホン付きマイクロホンやヘッドセット、スピーカーマイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

- 旅行などで長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、AC アダプターの電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

- イヤホンを使用するときは、電源を入れる前に音量ツマミを下げてください。聴覚障害の原因となることがあります。

保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックや乾電池を外して、AC アダプターの電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

電波法に関するご注意

- 本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。使用できなくなります。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線機の使用が禁止されている所があります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内などでは使用しないでください。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

ご使用にあたって

- 本機と通話できるトランシーバー (当社製品) は次のとおりです。
  - **グループモード・ボイススクランブルモードがある機種 (20ch 機):**
    UBZ-BH47FR、UBZ-LJ20、UBZ-LH20、UBZ-BG20R
  - **グループモード・ボイススクランブルモードがある機種 (9ch 機):**
    UBZ-LH9、UBZ-BG9R、UBZ-LG9、UBZ-LF9、
    UBZ-LA7 シリーズ、UBZ-LA5、UBZ-L5
  - **グループモード・ボイススクランブルモードがある機種 (11ch 機):**
    UBZ-LH11、UBZ-BG11R、UBZ-LG11、UBZ-LF11、
    UBZ-B7、UBZ-B5、UBZ-BA5
  - **グループモードはあるが、ボイススクランブルモードがない機種 (9ch 機):** UBZ-17
  - **グループモード・ボイススクランブルモードがない機種 (9ch 機):**
    UBZ-L3、UBZ-7
- 本機はレピーター (中継機) を使用しての交信できません。
- 通話のできる距離は地形や環境によって大きく異なりますが、目安は次のとおりです。
  建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。

  ・市街地：　100 ～ 200 m
  ・見通しのよい場所：　1 ～ 2 km
- 本機は、JIS 保護等級 2 防滴 2 型相当の仕様 (ゴムキャップ密閉時) ですので、多少の水滴がかかっても使用できます。ただし、雨の中でのご使用や、直接水につけて使用されると故障の原因となります。水分が付いたときは、ただちに乾いた布でよくふき取ってください。

  外部スピーカー / マイク接続用端子のゴムキャップを外しているときや、外部スピーカー / マイク接続用端子にオプションのスピーカーマイクロホンなどが接続されているときは、防滴になりません。
- 激しい振動、雨、粉塵がある環境で使用しないでください。

- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。

準備する

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

・ベルトフック 1
・サービス一覧表............................ 1
・保証書 1
・取扱説明書 (本書) 1

電池について

アルカリ乾電池 (単 3 形 3 本： 4.5 V)、または別売品の専用充電式ニカドバッテリーパック (UPB-1: 3.6 V) を使用してください。

使用する電池の種類設定

使用する電池の種類によって、設定を変えてください<ファンクション設定➡**「使用する電池の種類を設定する」**➡ 24 ページ>。お買い上げ時の設定は「アルカリ乾電池」です。
電池と設定が合っていないと、下記のバッテリー残量表示が正しく表示されません。

電池の使用可能時間の目安

電池の種類	使用可能時間
アルカリ乾電池	約 60 時間
ニカドバッテリーパック (UPB-1)	約 24 時間

測定条件：ラウドネスが OFF の状態で送信 6 秒、受信 6 秒、待ち受け 48 秒を繰り返したとき。

バッテリー残量表示

電池の残量の目安を表示します。

高　中　低　極低　送信禁止

電池の交換時期について

バッテリー表示が「 」になったら、電池が消耗しています。早めに電池を交換してください。なお、「 」が点滅に変わり、「ピッ」という警告音が 1 分ごとに鳴ると、送信ができなくなります。

乾電池に関するご注意

乾電池は、使い方を誤ると破裂や破損、液もれの原因となります。必ず次の注意事項を必ずお守りください。

・ 使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
・ 3 本とも同じ種類の乾電池を使用する。
・ 乾電池は充電しない。
・ 火の中へ投げ込まない。
・ ショート、分解、加熱しない。

市販の単 3 形充電式電池について

単 3 形充電式電池は使用しないでください。端子や電池の被覆がショートして発熱し、電池ケースや本体が壊れることがあります。

バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。

・ バッテリーセーブが ON に設定されていると、受信音声や VOX 動作時の音声の始めが途切れる場合があります。音声の途切れが気になる場合は、本機能を OFF にすることができます<➡32 ページ>。

本製品を長期間使用しないときは

本製品を長期間使用しないときは、乾電池やバッテリーパックを本体から取り出して、保管してください。

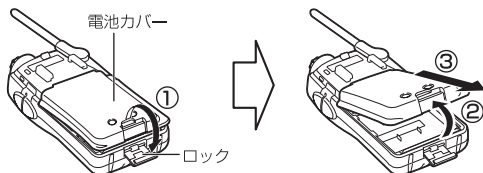
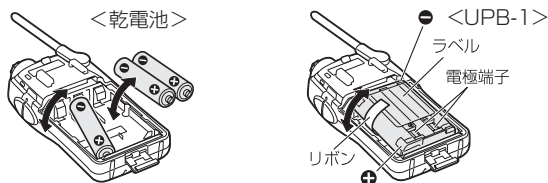
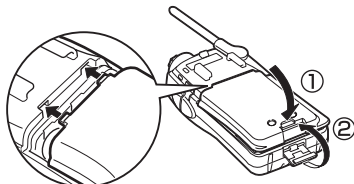
**不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
リサイクルにご協力お願いいたします。**

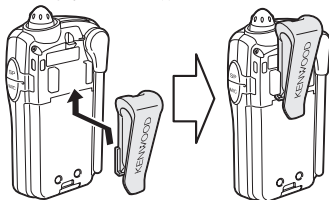
アンテナを立てる

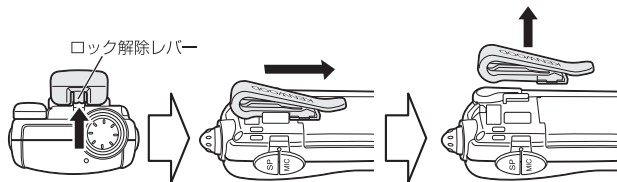
アンテナは必ず垂直に立ててご使用ください。

電池を入れる

電池カバーを開ける前に、アンテナを立てておきます。

1 本体を持ち、指でロックを外し、電池カバーを外す

2 電池ケースの＋－の表示に従って電池を入れる

3 電池カバーのツメを本体の凹部に入れてカバーを閉め、ロックする

ベルトフックを取り付ける

付属のベルトフックは縦向きに取り付けます。ベルトフックの裏のガイドを本体背面のスリットに合わせて、「カチッ」と音がして完全にロックするまで上側へスライドさせてください。

ベルトフックを取り外す

ベルトフック上部のロック解除レバーを押しながら、ベルトフックを本体下側へスライドさせせます。ベルトフック裏のガイドが本体のスリットから外れたら、ベルトフックを取り外すことができます。

市販品のストラップを取り付ける

本体上部のストラップ取り付け穴に、ストラップの紐を取り付けます。

各部の名称

本体

音量ツマミ
アンテナ
表示部
送信キー【PTT】
アップキー【UP】
ダウンキー【DOWN】
スピーカー
KENWOOD
DEMITOSS 20
38 GROUP MODE
FM TRANSCEIVER
UP
DOWN
MODE
SP
MIC
外部スピーカー/マイクロホン
接続端子(ゴムキャップ付)
電源キー【⏻】
モード切替キー【MODE】
マイクロホン
(搭載位置)

表示部

ボイススクランブル表示
ボイススクランブルモードが ON のときに点灯します。

ボイススクランブルモードを設定時に点滅します。

APO(オートパワーオフ) 表示
オートパワーオフが ON のときに点灯します。

オートチャンネルセレクト表示
オートチャンネルセレクト時に点灯します。

VOX(ハンズフリー) 表示
VOX が ON のときに点灯します。VOX 開始を PTT キーで行うように設定されているときは点滅します。

キーロック表示
誤操作防止 (キーロック) が ON のときに点灯します。

バッテリー表示
電池の残量(目安)を点灯します。

ラウドネス表示
ラスドネスが ON のときに点灯します。

ビープ表示
確認音を鳴らす設定のときに点灯します。
(ファンクション設定時のみ表示)

チャンネル番号を表示します。

グループ番号を表示します。

On Air 表示
送信時に点灯します。

Busy 表示
信号受信時に点灯します。

PTT ホールドが ON に設定されているときに点灯します。
(送信中は点滅します)

送信禁止表示
送信禁止に設定されているときに点灯します。

グループ番号やファンクション設定時に点滅します。

- 電源を入れてから 5 秒間表示部の照明ランプが点灯します。【PTT】以外のキー操作を行うと、再び点灯します。(この機能は解除することはできません。)

通話する

相手の方と同じチャンネル番号を設定し、送信と受信を切り換えながら通話します。

電源を入れる

1 【⏻】を1秒以上押す

電源が入り、チャンネルが表示されます。

2 音量ツマミを半分ぐらい右に回す

3 【UP】または【DOWN】を押す

チャンネル番号を合わせます。

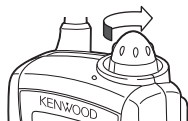
【UP】または【DOWN】を1秒以上押し続けると、押している間チャンネル番号が早送りされます。

例：h1 チャンネルに合わせた場合

9チャンネル機と交信する場合

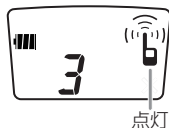
h1 ～ h9 に合わせます。

11チャンネル機と交信する場合

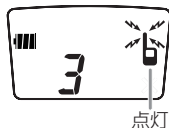
1 ～ 11 に合わせます。

例：3 チャンネルに合わせた場合

送信する

4 【PTT】を押しながら話す

が点灯し、送信状態になります。
マイク部から口を5cm くらい離してお話しください。

受信する

5 【PTT】から指を離す

受信すると、が点灯します。
受信しながら音量ツマミを回して好みの音量に調整してください。

点灯

手順 ***4*** と ***5*** の操作を繰り返して、通話します。

基本操作
通話する

が点灯中に【PTT】を押すと、「プー」と鳴り送信できません。相手の方からの送信が終了し、が消灯したら【PTT】を押して送信します。

電源を切る

6 【⏻】を 1 秒以上押す

表示が消え、電源が切れます。

通話時間終了の予告

本機の連続通信時間は、送信・受信を合わせて３分間です。通話終了の 30 秒前になると、表示部の数字が点滅しながらカウントダウンを始めます。10 秒前になると「ピッ」と予告音が鳴り、3 分経過すると送信禁止音と共に送信を停止し、受信待ち受け状態に戻ります。

続けて通信するときは、送信停止 2 秒後に【PTT】を押して相手を呼び出してください。

- 設定したチャンネル番号が使用されている場合、相手の方と共に他のチャンネル番号を設定してください。
- 「近距離 (約 10m 以内) に他のチャンネルを使用しているトランシーバーがあると、h7 と 1、h8 と 2、h9 と 3 チャンネルの組み合わせで混信をおこす場合がありますので、多数のグループが近距離で運用する場合は､同一グループチャンネル (h1 ～ h9 または 1 ～ 11 チャンネル) 内での運用をお勧めします。

- 通話中に誤ってキーを押してもチャンネルなどを変わらないように設定できます＜**誤ってキーが押されるのを防ぐ (キーロック**）➡ 21 ページ＞。
- 本機には、基本通話の他に 2 種類の通話方法があります。必要に応じて設定してください。通話のしかたは基本通話と同じです。

  グループモード＜➡ 18 ページ＞

  仲間どうしで通話したいとき

  ボイススクランブルモード＜➡ 19 ページ＞

  他の人に通話を聞かれたくないとき

グループで通話する（グループモード）

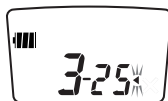
他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間どうしでグループモードを設定しておくと、混信がなくなって快適に通話ができます。

グループモードを設定する

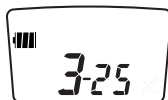
1 【MODE】を押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「1 ～ 38」から選んでください。

1 秒以上押し続けると、押している間グループ番号は早送りされます。

3 【MODE】または【PTT】を押す

【MODE】を押すとグループ番号が設定され、ボイススクランブルモード設定画面になります<➡ 19 ページ>。

【PTT】を押すとグループ番号が設定され、送信状態になります。

グループモードを解除する

● 手順 *2* で「OF」を選択する

- 他のグループが同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえなくても受信状態になります。この時に【PTT】を押すと「プー」と鳴って送信できません。

- 設定したグループ番号は、全チャンネル共通で使えます。
- 10 秒以上操作を行わない場合、手順 *2* で選択した状態が自動で設定されます。

通話を聞かれないようにする (ボイススクランブルモード)

グループモード時にボイススクランブルモードを設定すると、ボイススクランブルモードを設定していない人は会話を聞き取れなくなります。他の人に聞かれたくない大切な話などのときに設定すると便利です。
あらかじめグループ番号を設定してください＜➡ 18 ページ＞。

ボイススクランブルモードを設定する

1 【MODE】を2回押す

2 【UP】または【DOWN】を押す

「(マーク)」を点灯させます。

3 【MODE】または【PTT】を押す

【MODE】を押すとボイススクランブルモードが設定され、チャンネル設定モードになります。

【PTT】を押すとボイススクランブルモードが設定され、送信状態になります。

ボイススクランブルモードを解除する

● 手順 *2* で「(マーク)」を消灯させる

- チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブルモードの設定は、通話する相手の方と設定を合わせてください。設定を合わせないと通話できません。
- グループ番号とボイススクランブルモードが一致した場合、第三者でも通信を傍受できます。高度な機密を要する通話では、本機のご使用をお薦めいたしかねます。

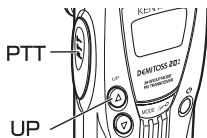
- グループモードを OFF にすると、ボイススクランブルモードも自動で OFF になります。
- 10 秒以上操作を行わないと、手順 *2* で選択した状態が自動で設定されます。

相手をコールトーンで呼び出す

お好みのコールトーンまたはメロディトーンで相手を呼び出すことができます。コールトーンは6種類、メロディトーンは4種類あります。コールトーンを使うと、誰からの呼び出しかすぐに分かります。
あらかじめ、通話相手と使用するコールトーンを決めください ＜**コールトーンの音色を変更する➡** 30 ページ＞。
お買い上げ時はコールトーン -1 に設定されています。

本機のキー操作で呼び出す

● 【PTT】を押しながら【UP】を押す

押している間コールトーンが送信されます。

オプションのリモコン対応マイクロホンのキー操作で呼び出す

● 【3】を押す
または【PTT】を押しながら【3】を押す

押している間コールトーンが送信されます。

誤ってキーが押されるのを防ぐ（キーロック）

間違えてチャンネルやグループ番号を変えないように、キーをロックすることができます。

キーをロックする

●【MODE】を 1 秒以上押す

「🔑」が点灯します。

【⏻】と【PTT】以外のキー操作は受け付けません。

オプションのリモコン対応マイクロホンの【1】と【3】のキーは操作できます。

キーロックを解除する

●【MODE】を 1 秒以上押す

「🔑」が消灯します。

一時モニターを使う

電波が弱いときに、スケルチ (雑音消去回路) を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。
この機能は、オプションのリモコン対応マイクロホンで操作します。

●【1】を押す

押している間だけ が点灯し、信号の状態をモニターできます。

- グループ通話時に一時モニターを使うと、そのチャンネルで受信しているすべての音声が聞こえます。

ファンクション設定

本機では通常の機能のほかに、以下のような機能が設定できます<詳細は 24 ～ 32 ページ>。

ファンクション設定機能一覧

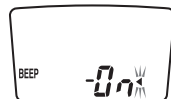
機能		設定
①	確認音の有無を設定する	OFF/**ON**
②	使用する電池の種類を設定する	**アルカリ** / ニカド
③	自動で電源を切る (APO)	**OFF**/ON
④	自動で空きチャンネルを探す (オートチャンネルセレクト)	**OFF**/ON
⑤	送信を禁止する	**OFF**/ON
⑥	VOX の感度を設定する	**OFF**/1 ～ 5
⑦	会話の最後が途切れないようにする (VOX 遅延時間)	**0.5**/1.0/2.0/3.0(秒)
⑧	VOX 送信開始を送信キーで行なう	**OFF**/ON
⑨	送信キーをホールドする	**OFF**/ON
⑩	コールトーンの音色を変更する	トーン **1** ～ 10
⑪	弱い信号を受信する (スケルチ OFF)	OFF/**ON**
⑫	音量をより大きくする	**OFF**/ON
⑬	バッテリーセーブ	OFF/**ON**
⑭	リモート機能を解除する	OFF/**ON**

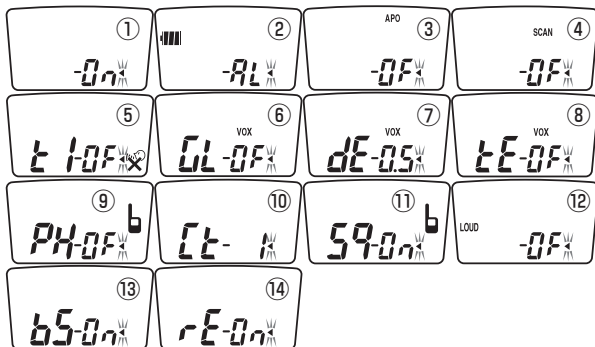
- ⑦⑧は⑥の設定が OFF の場合は選択できません。
- ⑨は⑥の設定が 1 ～ 5 の場合は選択できません。
- ⑥⑦⑧は⑤の設定が ON の場合は選択できません。
- **太文字**はお買い上げ時の設定です。

ファンクション設定のしかた

1 一度電源を切る

2 【UP】を押しながら【⏻】を押す

電源が入り、ファンクション設定モードになります。

3 【UP】または【DOWN】を押す

設定したい機能を選びます。

4 【MODE】を押す

押すたびに設定が切り替わります。

手順 ***3*** と ***4*** の操作を繰り返して、各機能を設定します。

例：確認音設定

⑩のコールトーン音色の変更のみ、【MODE】を押したあと、【UP】または【DOWN】で設定を選択して、【MODE】をもう一度押します。

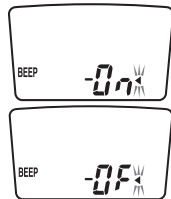
5 【PTT】を押す

設定モードが終了して、チャンネル表示に戻ります。

① 確認音の有無を設定する

キーを操作したときに鳴る確認音をビープ音 (BEEP) といいます。この機能を「OF(OFF)」に設定すると、このビープ音を鳴らさないようにできます。

On(ON)： ビープ音が鳴ります

OF(OFF)： ビープ音は鳴りません

- 以下の警告音、予告音などはこの機能の ON ／ OFF と関係なく鳴ります。
  - ・バッテリー警告音・通信時間制限予告音・APO 警告音
  - ・送信禁止音

② 使用する電池の種類を設定する

使用する電池により設定します。

AL： アルカリ電池を使用するとき

nl： バッテリーパック (UPB-1) を使用するとき

③ 自動で電源を切る (APO)

この機能を「On(ON)」に設定すると、1 時間 59 分間キー操作が行なわれなかった場合、電源を切り忘れたとみなして告知音を鳴らします。さらに同じ状態が 1 分間続くと、自動で電源を切ります。

On(ON)： APO が動作します

OF(OFF)： APO は動作しません

- モニター中やオートチャンネルセレクト中は APO は動作しません。

④ 自動で空きチャンネルを探す（オートチャンネルセレクト）

グループで設定したチャンネルで通話ができない場合、自動で空いているチャンネルを探します。目印にグループ番号を使いますので、あらかじめ同じグループ番号を決めてグループモードを設定してください＜➡ 18 ページ＞。

On(ON)： オートチャンネルセレクトが動作します

OF(OFF)： オートチャンネルセレクトは動作しません

オートチャンネルセレクトの操作

上記の設定を「On(ON)」にしてから

1 本機の【UP】またはオプションのリモコン対応マイクロホンの【2】を 1 秒以上押す

表示部に「SCAN」が点灯し、空いているチャンネルを見つけるまでチャンネルが変わり続けます。

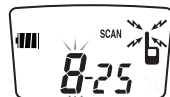
呼び出す

2 【PTT】を 2 ～ 3 秒押し続ける

空いているチャンネルで 10 秒ほど停止するので、【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。

呼びかけが終ったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

呼び出されると アイコン が点灯し、チャンネル番号が点滅します。

応用操作
ファンクション設定

3 が消えてから、【PTT】を押して応答する

応答は 10 秒以内に行ってください。10 秒以上送信・受信がないと、オートチャンネルセレクトを再開します。

オートチャンネルセレクトを解除する

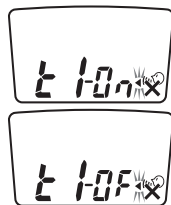
● オートチャンネルセレクト中に本機の【UP】、【DOWN】、【MODE】またはオプションのリモコン対応マイクロホンの【2】を押す

表示しているチャンネルで受信待ち受け状態になります。

⑤ 送信を禁止する

本機を受信専用として使用するときに設定します。誤って【PTT】を押しても送信しません。***< tI: TX Inhibit >***

On(ON)： 送信できません

OF(OFF)： 送信が可能です

- 本機能を ON に設定すると VOX 機能の設定は選択できません。

VOX 機能を使う

【PTT】を押さなくても、マイクに向かって話すだけで自動送信されます。話をやめると自動で受信待ち受け状態になります。
VOX 機能を使用する場合はオプション (別売品) のイヤホン付きマイクロホン EMC-5F やヘッドセット KHS-21、KHS-28F、HMC-3 または HMC-4 を使用してください。

- 本機単体でも VOX 機能は動作しますが、周囲の音で誤送信することがあります。オプションを接続して使用してください。
- HMC-3 や HMC-4 を使用するときは、ヘッドセット側の VOX 機能を OFF、感度調整ボリュームを最小にしてください。
- SMC-34、EMC-6 および EMC-3 は【PTT】を押さないとマイクが正常に動作しないため、VOX 機能を使用することはできません。
- VOX 機能は受信中、確認音が鳴っているとき、コールトーンが鳴っているとき、スケルチが OFF のとき、オートチャンネルセレクト中、各機能設定中は使用できません。
- 電池容量が少なくなると、VOX は使用できなくなります。表示部の電池残量表示が減り始めたら早めにバッテリーパックを充電したり、新しい乾電池に交換してください。
- バッテリーセーブが解除された直後は、VOX 動作時の音声の始めが途切れる場合があります。
- 連続して通話できる時間は最大 3 分です。

⑥ VOX の感度を設定する

周りの環境や声の大きさによって、VOX 機能使用時のヘッドセットなどのマイクが感知する音声レベルを設定できます。声に合わせてスムーズに送受信が切り替わるように設定してください。「OF(OFF)」の設定では VOX 機能は解除になり、「1」～「5」では VOX 機能は ON になり数値が大きいほどマイクの感度が高くなります。

< GL: VOX Gain Level >

5：　より小さい音に反応します
4：　↑
3：　↑
2：　↑
1：　より大きな音に反応します
OF(OFF)：VOX 機能を解除します

応用操作
ファンクション設定

⑦ 会話の最後が途切れないようにする (VOX 遅延時間)

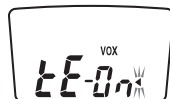
VOX 使用時、会話の最後が送信されない場合があります。遅延時間を「0.5(秒)」～「3,0(秒)」に設定して、会話が最後まで送信されるように調整してください。数字が大きいほど遅延時間が長くなります。
< dE: VOX Delay >

3.0： 遅延時間長い
2.0： ↑
1.0： ↑
0.5： 遅延時間短い

⑧ 送信開始を送信キーで行なう

VOX 送信では話し始めても送信するまで時間がかかるため、音声の初めが途切れる場合があります。このようなときは本機能を「On(ON)」に設定すると、「**送信開始は【PTT】を押す、話をやめると VOX 機能で送信が止まる**」の動作になります。***< tE: VOX TX Enhancement >***

On(ON)： **【PTT】**を押して送信を開始します

OF(OFF)： 音声で送信を開始します

本設定を ON に設定すると、チャンネル表示画面では「VOX」が点滅します。

- オートチャンネルセレクトを開始すると、本機能を ON に設定しても、本機能を使用することはできません。

⑨ 送信キーをホールドする

通常は送信するときは【PTT】を押し続けますが、本機能を「On(ON)」に設定すると、「**送信開始するときに【PTT】を一度押す、送信を止める時はもう一度押す**」の動作になります。***< PH: PTT Hold >***

On(ON)：　送信開始と終了時に【PTT】を押します

OF(OFF)：送信中は【PTT】を押し続けます

本設定を ON に設定すると、チャンネル表示画面では、送信中に が点滅します。

- 連続して通話できる時間は最大 3 分です。

⑩ コールトーンの音色を変更する

コールトーンにより相手を呼出す時の音色を 1 ～ 10 の中から選択できます。***< Ct: Call Tone >***

本設定は【UP】および【DOWN】で音色を選択します。

1 ～ 6：　コールトーン

7 ～ 10：　メロディートーン

⑪ 弱い信号を受信する (スケルチ OFF)

通常は受信できない弱い信号を受信したいときに、強制的にスケルチ (雑音消去回路) を OFF にして音声を聞く機能です。電波が弱く、聞きとりにくいときに便利です。信号を受信していない時は「ザー」という雑音が出ますので、音量を調整する時の目安にもなります。
< Sq: Squelch >

On(ON)： スケルチが閉じます
(弱い電波を受信しないので、雑音は聞こえません)

OF(OFF)： スケルチが開きます
(弱い電波を受信するので、「ザー」という雑音が聞こえます)

- 一度電源を切ったり、オートチャンネルセレクトを ON にすると、OFF に設定したスケルチは自動で ON に戻ります。
- グループモードのときスケルチを OFF に設定すると、そのチャンネルで受信しているすべての音声が聞こえます

⑫ 音量をより大きくする (ラウドネス)

音量ツマミ回して音量を大きくしても、相手の声が小さくて聞きとりにくい場合は、ラウドネスを ON にすると、本機のスピーカー音量がより大きくなります。

On(ON)： 音量が大きくなります

OF(OFF)： 通常音量になります

⑬ バッテリーセーブ

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリーセーブは解除されます。***< bS: Battery Save >***

On(ON)： バッテリーセーブが動作します

OF(OFF)： バッテリーセーブは動作しません

bS-OF

- オートチャンネルセレクトを ON に設定してある場合、バッテリーセーブを ON に設定しても、バッテリーセーブは動作しません。
- バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返し行なうため (PTT ホールドを ON に設定してある場合は) が点滅することがあります。
- バッテリーセーブを ON に設定すると、受信音声や VOX 動作時の音声の始めが途切れる場合があります。

⑭ リモート機能を解除する

リモコン対応マイクロホンを使用している時に、誤ってマイクロホンのリモートキー【1】【2】【3】を押してしまうことを防止する設定です。
< rE: Remote >

On(ON)： リモートキーが動作します

OF(OFF)： リモートキーは動作しません

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、リセットしてください<お買い上げ時の状態に戻す (オールリセット)」➡ 34 ページ>

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	電池の入れ方が違う	＋－を正しく入れる	12
	電池が消耗している	新しい電池に交換する	
		充電する	37
受信できない	【PTT】が押されている	【PTT】から指を離す	16
音量ツマミを回しても音がでない	グループ番号が違う	グループ番号を合わせる	18
相手と通話できない	チャンネルかグループ番号が違う	チャンネル、グループ番号を合わせる	16 18
	相手との距離が離れすぎている	通話できる距離を目安に通話する	9
送信できない	が点灯している	チャンネル番号を変更するか、が消えるのを待つ	16
	送信禁止に設定されている	送信禁止を解除する	27
電池の消耗が早い	ラウドネスが ON に設定されている	必要なときだけラウドネスを ON にする	31
	バッテリーセーブが OFF になっている	バッテリーセーブを ON にする	32
聞き取れない音声が入る	同じチャンネルで別のグループ番号を使っている	別のチャンネルに変更する	16
何も聞こえないのにが点灯する	ボイズスクランブルモードを使っているグループがいる	オートチャンネルセレクトで他の空いているチャンネルを探す	26
音量を大きくすると、ブーという音がする	電池が消耗している	新しい電池に交換する	12
表示がすぐ消える		充電する	37

● 電源を入れたときに、表示が乱れることがありますが、故障ではありません。直ぐに正常な表示になります。

お買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）

設定されている内容はすべて消去され、初期の設定状態に戻ります。

1 一度電源を切る

2 【UP】と【DOWN】を押しながら【⏻】を押す

「SurE(SURE)」と表示されます。

3 【UP】、【DOWN】、【⏻】から指を離す

リセットを止めたい時は、【⏻】を押して電源を切ります。リセットはされません。

4 【PTT】を押す

ビープ音が鳴ってリセットされます。
初期設定の状態に戻ります。

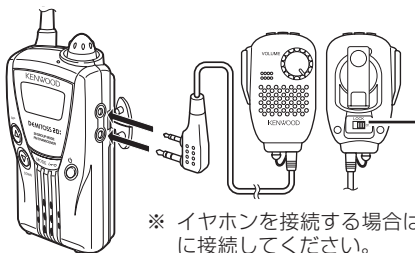
株式会社エクセリ 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

オプション (別売品) について

本機には、次のようなオプション (別売品) が用意されています。

- EMC-3 -------- イヤホン付きクリップマイクロホン
- EMC-5F ------ イヤホン付きクリップマイクロホン
  (マイク感度切り替え付き)
- EMC-6 -------- イヤホン付きクリップマイクロホン (耳掛けタイプ)
- HMC-3-------- ヘッドセット (VOX/PTT 付き)
- HMC-4 ------- リモコン対応ヘッドセット (VOX/PTT/TOT 付き)
- KHS-21 ----- VOX 用ヘッドセット
- KHS-28F --- ヘッドセット (耳掛けタイプ)
- SMC-34 ---- リモコン対応ボリューム付きスピーカーマイクロホン
- HS-9----------- プチホン型イヤホン
- UBC-2 ------- ツインチャージャー
- UBC-4 ------- シングルチャージャー
- UPB-1 ------- 充電式ニカドバッテリーパック (3.6V 700mAh)
- USC-3 ------- キャリングケース
- USC-13 ----- ホルスター

- イヤホン付きクリップマイクロホンのご使用について
  使用頻度が高く堅牢性が必要な場合は、EMC-5F の使用をお勧めします。
- 製品名のあとに (G)、(C) と表記されている商品がありますが、これらも表記の無い商品と同一製品です。
- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等を参照してください。

マイクロホンを接続する

LOCK スイッチを ON にすると【1】【2】【3】を押しても動作しません。
<SMC-34>

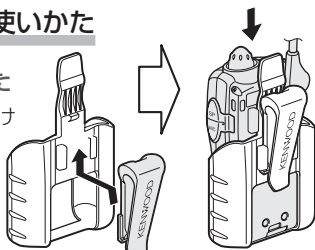
※ イヤホンを接続する場合はスピーカー (SP) 端子に接続してください。

- オプションを接続するときは、接続の前に必ず本機の電源を切ってください。
- オプションを接続しているときは、防滴になりません。

USC-13(ホルスター) の使いかた

トランシーバーの取り付けかた

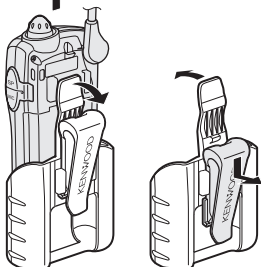
1 背面にベルトフックを取り付けます。

- ベルトフックは必ず UBZ-LK20 の付属品を使用してください。

2 トランシーバーをロックするまで差し込みます。

トランシーバーの取り外しかた

上部のレバーを背面方向に引きながらトランシーバーを引き出だします。

ベルトフックの取り外しかた

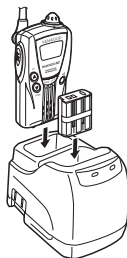
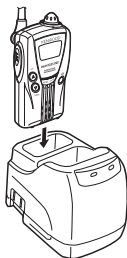
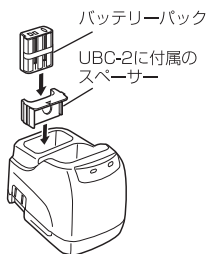
上部のレバーを前面方向に引きながらベルトフックを引き下げて取り外します。

充電器を使って充電する

詳しい説明は、各充電器に付属の取扱説明書をお読みください。

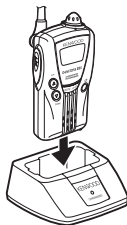
ツインチャージャー (UBC-2) を使用する場合

バッテリーパックのみを充電するとき

バッテリーパックをトランシーバーに付けたままで充電するとき

スペアのバッテリーパックも同時に充電するとき

シングルチャージャー (UBC-4) を使用する場合

バッテリーパックをトランシーバーに付けたままで充電します。

バッテリーパック単体では充電できません。

- トランシーバーを充電器に差し込む時は、トランシーバーの電源を切ってください。

- ツインチャージャー (UBC-2) は 10 台まで連結できます。
- UBC-2 ／ UBC-4 での充電時間は約 8 時間です。

その他

オプション（別売品）について

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証について

● 保証書（別添）

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **1 年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」<➡ 33 ページ>を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様御自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 修理料金の仕組み（有料修理の場合は次の料金が必要です。）

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
送料： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

送受信周波数 ....422.200 ～ 422.300 MHz (h1 ～ h9 ch)
422.050 ～ 422.175 MHz (1 ～ 11 ch)
12.5 kHz ステップ
電波型式 ....F3E、F2D
周波数安定度 .... ± 4 ppm
消費電流 ....送信時 70 mA 以下
受信定格出力時 120 mA 以下
(ラウドネス OFF 時)
受信待ち受け時 50 mA 以下
セーブ時（平均）約 10 mA
性能保証温度範囲 ...... － 10 ℃～＋ 50 ℃
電源電圧 ....定格電圧 DC 4.5 V(－接地)
送信出力 .... 10 mW
低周波出力 ....90 mW 以上
(定格電圧、8 Ω負荷、10 %歪時)
受信感度 .... － 8 dB μ以下 (12 dB SINAD)
寸法
（突起物含まず）..........幅 55.5 × 高さ 103.9 × 奥行き 26 mm
質量（重量）................約 180 g(単 3 アルカリ電池 3 本を含む)

※仕様は予告なく変更することがあります。

その他

仕様

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

● 商品に関するお問い合わせはカスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル　0570-010-114

（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合せが可能です）

携帯電話・PHS・IP 電話からは、045-933-5133

ＦＡＸ　045-933-5553

住所　〒 226-8525　神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

受付時間　9：00 ～ 18：00

（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

● アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッド･サービスセンターにご相談ください（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください）。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32

お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200